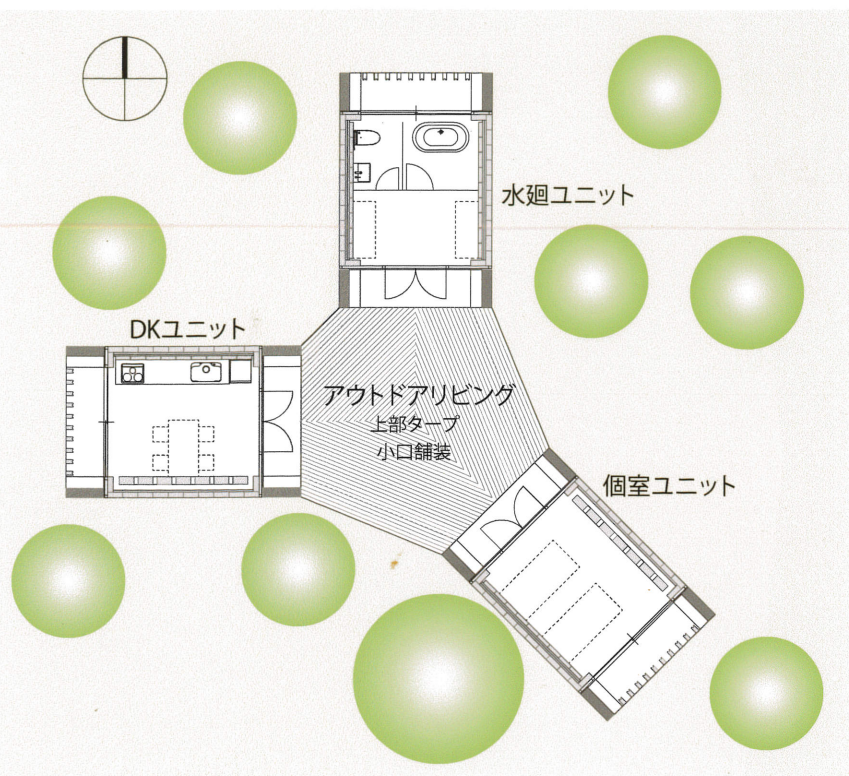


# Weekend House in a Forest

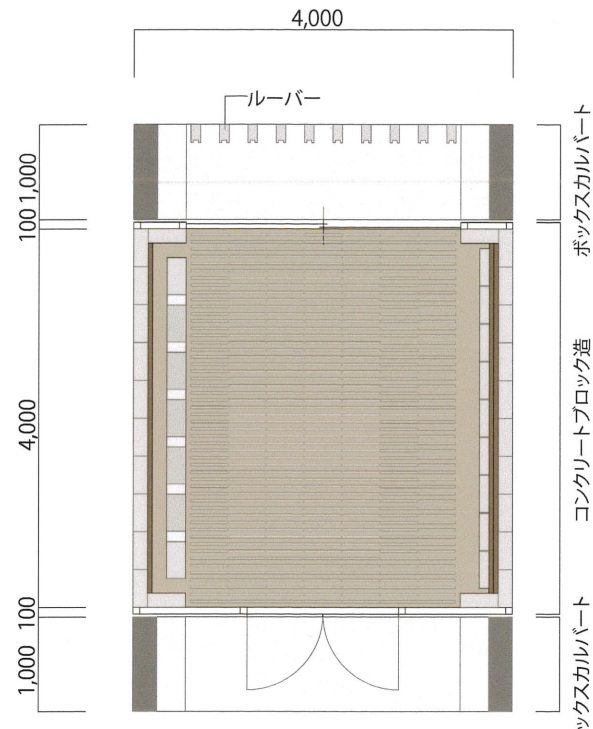
- ◆ コンクリート二次製品の可能性
- ◆ 仕上材としての新たな世界
- ◆ 規格製品の構造美

コンクリートブロックとボックスカルバートを用いた基本ユニット。ユニットを配置し、タープの屋根でアウトリビングをつくりだす。大地の素材からつくられるコンクリート製品は独特の風合いを持ち、自然と対比は、訪れる人に特別な空間と時間を与えてくれる。

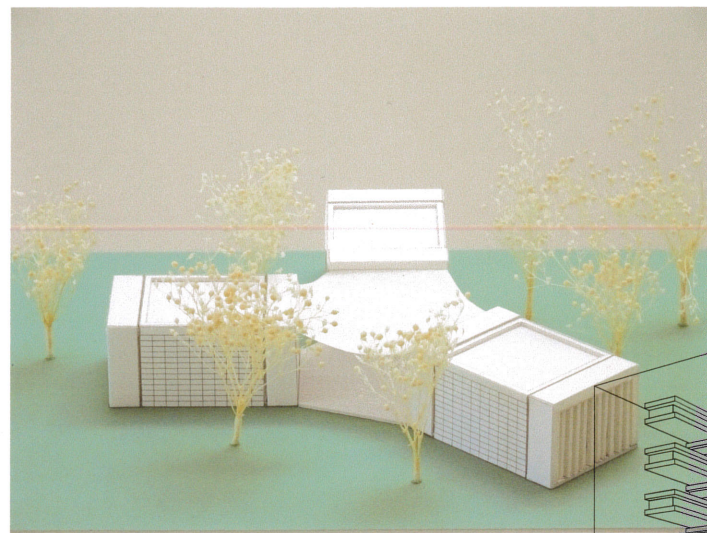
コンクリートブロックは構造用と仕上用を別々に扱う。構造材から解放されたコンクリートブロックの価値を追求し、規格品の素地、製品構造美を生かしたデザインで新たな価値を見出す。コンクリートブロックに新たな可能性を。



<平面図 1/200>



<ユニット平面図 1/80>

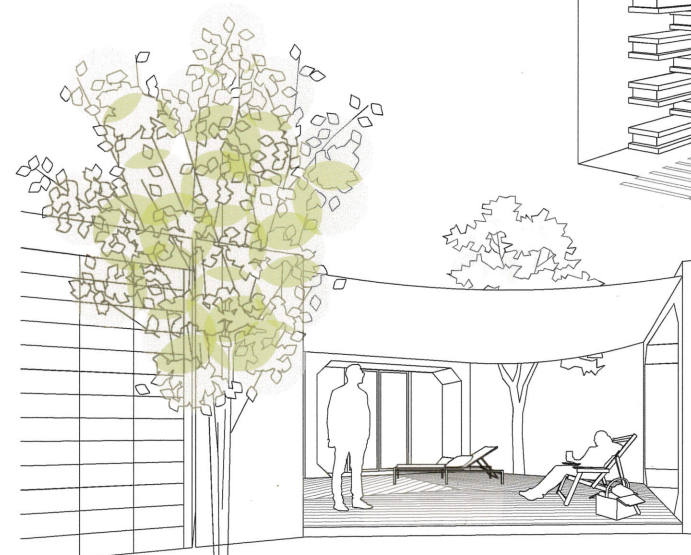


敷きつめる。積みかさねる。透かす。

面から線へ着目してみる。目地、小口のライン、1列のみの積み上げ。それらの集合体として再構築される面。

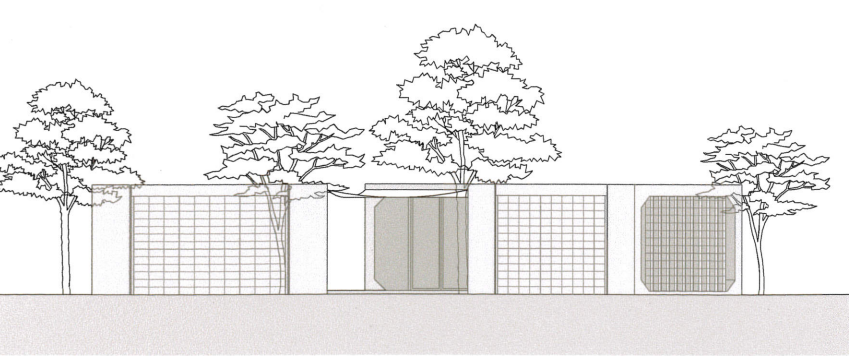
製品単体を見つめ直し、新しいデザインを考える。

積み方を変え、隙間を持たせると、コンクリートブロックは新しい表情を見せる。重厚さと軽さの相反する表現は、場に特別感を生み出す。

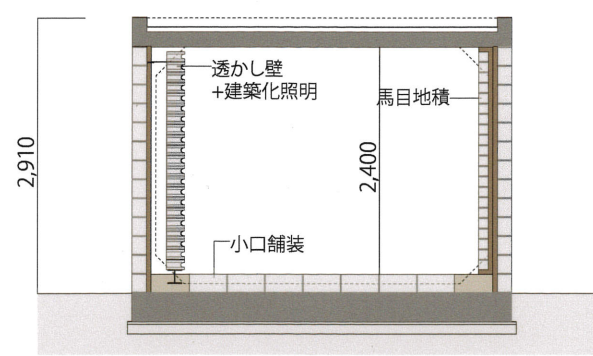


素材表面の荒々しさは、力強さと温もりを併せ持つ。包まれる、守られるという感覚は、コンクリートブロック建築の特性でもある。

重厚なユニットとそれらをつなぐ柔らかな布。木々を揺らす風がやさしくリビングを吹き抜ける。

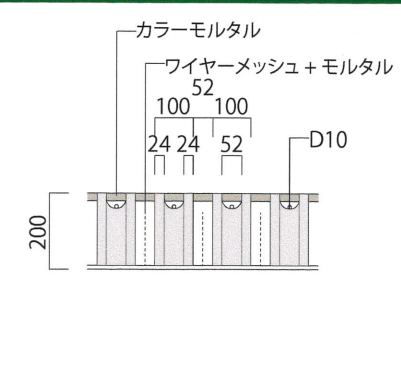


<立面図 1/200>



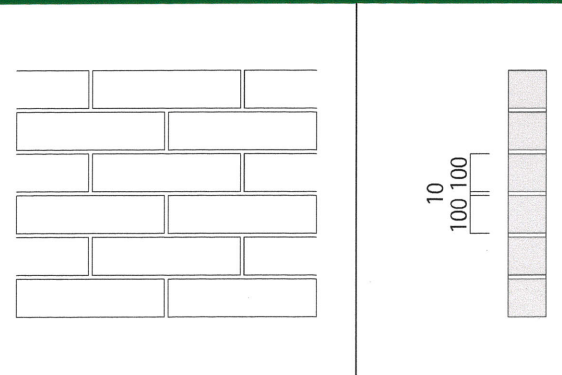
<ユニット断面図 1/80>

床仕上げ材 / 小口舗装  
使用ブロック / 横型 390×190×100



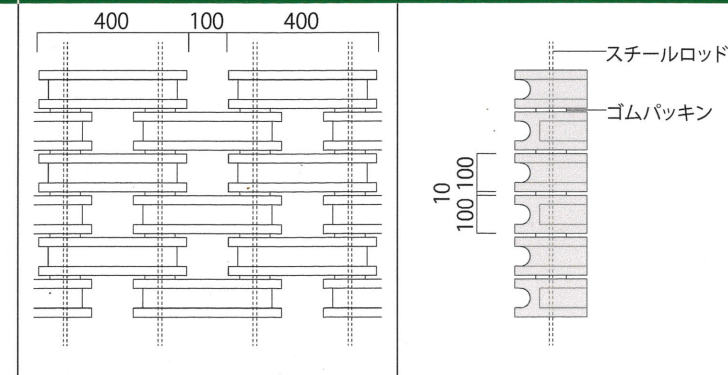
横型ブロックを並べ、小口を仕上げパターンに使う。隙間を濃色のカラーモルタルで埋め、ブロックのラインを引き立たせる。

壁仕上げ / 馬目地積  
使用ブロック / ヨーカン 390×100×100



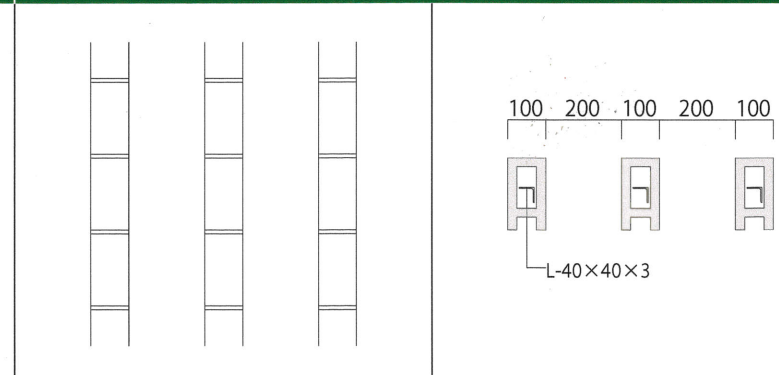
H寸法の小さなブロックでレンガ積の表現を用いる。小さなサイズがブロックをヒューマンスケールに近付ける。

壁面装飾 / 透かし壁  
使用ブロック / 横型 390×190×100



横型ブロックを横置きに積み重ね、その凹凸を見せる。ブロックの構造、力強さ、荒々しさが空間に強烈な印象を与える。背面に建築化照明を設置し、ブロックに浮遊感を持たせる。

ルーバー  
使用ブロック / コーナー1/2 190×190×100



コーナー製品のみを積み重ねてルーバーをつくる。裏側は小口を現し、違う表情を見せる。